

# 福岡県筑前町 使用済紙おむつリサイクル事業



## 筑前町について

平成17年3月に旧夜須町と旧三輪町の合併により筑前町が誕生。令和7年度で**20周年**を迎えます。

この20年の間に人口増加が続いており、2021年1月に**3万人**を突破、以降も**微増傾向(2020年→2023年比+1.5%)**が継続しています。令和6年に行われた総務省発表において、筑前町は社会増加町村全国第7位となっており、多くの方々から選ばれる町でもあります。

「**緑あふれる 豊かで便利な とかいなか**」を町の将来像としています。

面積	: 67.10km <sup>2</sup>
人口	: 30,738人 (令和6年8月末時点)
世帯数	: 12,590世帯 (令和6年8月末時点)



# 福岡県筑前町 使用済紙おむつリサイクル事業



## 現状の課題

図1のとおり、今後使用済紙おむつ排出量の増加が予想されており、町も同様に増加が予想されます。

令和5年度のごみ処理施設への可燃ごみ搬入量実績約7,848tのうち、試算において約150t(約3%)を紙おむつが占めるという結果が出ています。

⇒このままだと・・・

使用年齢層人口の増加に伴う紙おむつの排出量の増加＝可燃ごみの処分量の増加となり、ごみの処分にかかるCO2排出による環境への影響が懸念されます。

また、令和5年度の町のリサイクル率(22.5%)※速報値は前年度を下回っており、資源ごみの回収の促進によるリサイクル率の向上に努めなければなりません。

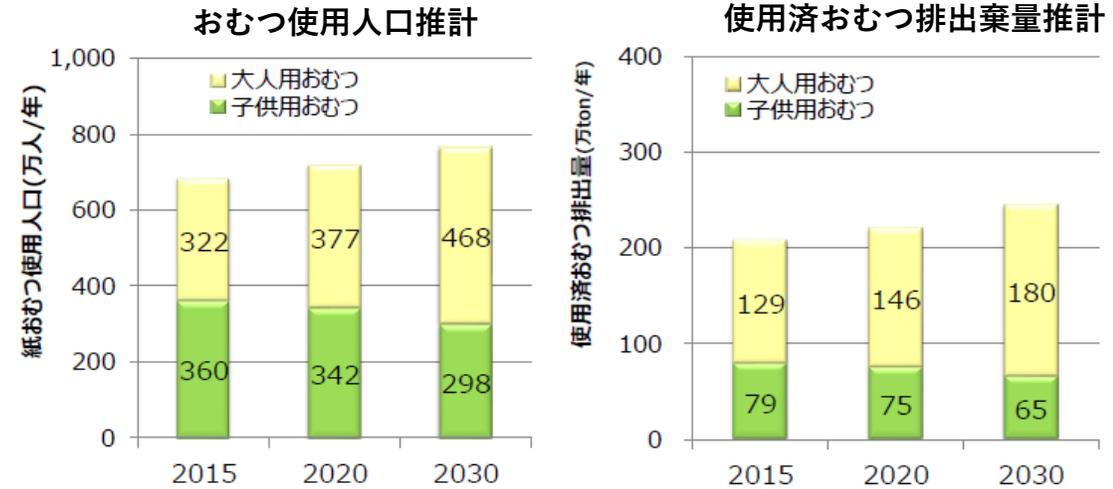


図1 おむつ使用人口と排出量の推移

自治体	リサイクル率
筑前町	22.7%
福岡県町村平均	37.6%
福岡県平均	21.8%

図2 <参考>令和4年度 福岡県におけるリサイクル率

図1：(一社)日本衛生材料工業連合会「紙おむつ排出量推計(第一次報告)」

図2：福岡県における一般廃棄物の現況(R4年度版)

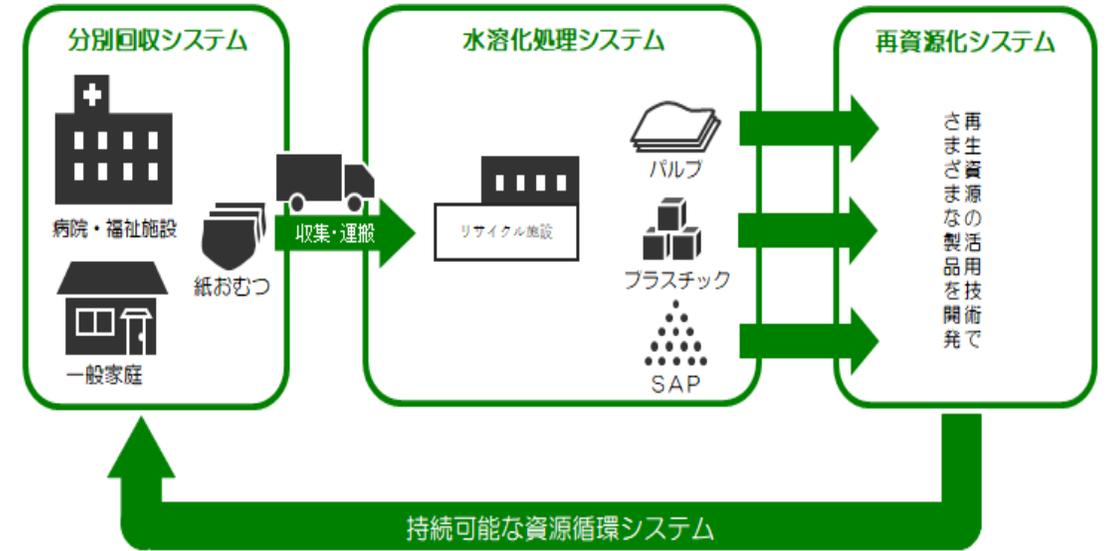
# 福岡県筑前町 使用済紙おむつリサイクル事業



## 事業の目的

就学前の子供の増加や高齢化による使用済紙おむつの排出量の増加が見込まれる中、ごみ焼却処理量の削減等による廃棄物処理の合理化や資源循環の促進など地球環境の保全に繋がります。

町では、令和6年度から「小型家電」「製品プラスチック」のリサイクルにも取り組んでおり、今回の「使用済紙おむつリサイクル事業」とあわせて住民のリサイクル意識を向上させることで町のリサイクル率(22.5%)の向上を目指します(目標値:35%)。



※SAP：高吸収性ポリマー

使用済の紙おむつが  
新たな製品に生まれ  
変わるよ！



# 福岡県筑前町 使用済紙おむつリサイクル事業

## 寄附の魅力

①使用済紙おむつリサイクル事業への取組自治体は現在約30自治体<sup>1</sup>であり、環境省は2030年度までに100自治体を目指しており、国が推進する全国的にも先進的な取組への貢献ができます。

②紙おむつのリサイクルは針葉樹から作られる良質のパルプを再利用することから、「都市森林」ともいふべき価値があり、資源循環の促進、焼却処理の回避によるCO2削減など環境保全につながります。

⇒企業版ふるさと納税を通して、「環境問題への貢献」「将来への投資」「事業外分野への貢献」が可能！！



1 環境省「使用済紙おむつの再生利用等の促進プロジェクト検討結果取りまとめ P7達成目標※」より

# 福岡県筑前町 使用済紙おむつリサイクル事業



## 寄附金の使途

効率的な事業推進のための備品購入、実態調査に係る費用など(概算値)

- ・専用回収袋 約500万円/年
- ・回収BOX 65,000円×50台 約330万円
- ・収集運搬用車両 1,000万×2台 約2,000万円
- ・その他必要備品(防臭用品等) 約50万円/年
- ・収集運搬処理、委託料 訳1,000万円/年

目標額 4,000万円



# 福岡県筑前町 使用済み紙おむつリサイクル事業



環境保全のためにできる  
ことから始めましょう！  
皆様のご協力をお待ちしております！！



【問い合わせ先】

企画課企画調整ふるさと納税係

TEL 0946-42-6601

✉ [furusato-ki@town.chikuzen.fukuoka.jp](mailto:furusato-ki@town.chikuzen.fukuoka.jp)